

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

・昨年度の課題であった「話すこと・聞くこと」の領域において、区、全国のポイントよりも上回っている。また、昨年度の平均正答率と比較しても上回っている。ペア、グループ学習の機会を増やすことで、伝え合う力が身に付いてきている。

(2) 課題

・漢字の読み書きと、言葉の特徴や使い方に関する事項において、区、全国の平均正答率よりも下回っている。日常的な語彙指導、音読や暗唱の活動を充実させ、定着を図りたい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 正答率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値、全国平均正答率を上回っている。区の平均正答率をやや上回っている。 (第4学年時)	/	/
第5学年	目標値、全国平均正答率を上回っている。区の平均正答率をやや上回っている。 (第5学年時)	目標値を上回っている。また、区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	目標値を大きく上回っている。全国平均と区の平均正答率を上回っている。区の平均正答率をやや上回っている。 (第6学年時)	目標値を上回っている。また、区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。 (第5学年時)	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率を上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<4年生> ・目標値を上回っている。また、区平均正答率と全国平均正答率をやや上回っている。	<4年生> ・目標値、区平均正答率、全国平均正答率を上回っている。 ・「登場人物の気持ちの変化	<4年生> ・主体的に学習に取り組む態度については、全校平均正答率や区の平均正答率より大きく上回っている。

<ul style="list-style-type: none"> ・「漢字を書く」「漢字を読む」「言葉の学習」が、目標値を大きく上回っているものが多い。しかし、「主語と述語との関係について」の項目で、全国平均正答率を下回る結果となった。 	<p>について、具体的に想像している。」の項目が、目標値を下回っている。</p>	
---	--	--

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字を書く」が、目標値、全国正答率を下回っている。また、言葉の学習の「連用修飾語について理解している」の項目が、全国正答率と同様に目標値を大きく下回っている。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区や全国の平均回答率を上回っており、ある程度定着していると言える。 ・「言語文化に関する事項のポイント」が全体を通してやや低い傾向にある。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文と説明文の読み取りについては、目標値、全国平均を上回っている。 ・「文章を書く」では、各項目の正答率は全国を上回っているが、文字数や段落数を指定される問題についての正答率は、目標値とほぼ横ばいである。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区や全国の平均回答率を上回っており、ある程度定着していると言える。 ・「話すこと・聞くこと」のポイントが全体を通してやや低い傾向にある。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値、全国正答率ともに上回っている。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組む態度は、目標値を上回っているが、知識・技能、思考・判断・表現のポイントよりも低い傾向にある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・文字の書き取りを繰り返して、字形に気を付けて丁寧に書くよう日常的に指導を行う。 ・詩の音読や暗唱活動を通して、様々な言葉の響きやリズムを感じながら、言葉の豊かさに触れられるようにする。 ・動作化や劇化を積極的に取り入れて、言葉のもつ意味について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物等を利用し、話し方、聞き方のポイントを常に確認できるようにして、他教科においても徹底させていく。 ・がんばったことや、楽しかったことなど、経験したことについて話す機会を継続的に設け、自己の考えを広げたり深めたりできるように指導する。 ・ペアで対話する学習活動を 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読劇などの表現活動を積極的に取り入れ、学習の楽しさを味わえる活動を工夫していく。 ・地域図書館や団体貸し出しを利用したり、学習と関連した本の紹介や読み聞かせをしたりして、読書に親しむ機会を増やしていく。

	積極的に取り入れ、話すことや聞くことの機会を増やしていく。	
--	-------------------------------	--

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典、漢字辞典の使い方を学習した後も他教科においても活用させていく。そして、漢字の読み、書きの学習の定着も図っていく。 ・タブレットを活用し、様々な情報収集や情報の整理をするなかで、語彙を広げ知識・理解の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文における登場人物の気持ちを考える活動の中で、ペアやグループなど友達との交流を通して、自らの考えを深められるように学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入の際に子供たち自身の体験を想起させることで、学習を身近なものと感じさせ、主体的に取り組めるようにする。 ・地域図書館や団体貸し出しを利用したり、学習と関連した本の紹介や読み聞かせをしたりして、様々な分野の本に触れることができるような場を設定していく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読みについては、漢字ドリルや教科書を用いた取り組みを継続し、まずは「漢字を読める」ことを確実にできるようにする。書きについては、新出漢字を作文の中で使えるように、熟語単位・文単位で書き表す機会を増やす。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に親しむために、語感やリズムのよさを十分に味わえるような学習活動を取り入れる。また句会や発表会を行うこと、それらを見据えた作品の推敲に力を入れていく。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を読み取る学習では、構成表や思考ツールを用いて、文章の全体像を把握し、内容を比較・関連付けを意識し読み解くように意識できるようにする。 ・説明文では、要旨を指定された文字数でまとめられるように、筆者が最も伝えたいことを抑えながら、書き表せるようにする。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を伝えるだけでなく、相手の話す内容と比較しながら自己の内容を推敲していくような学習を取り入れる。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を普段の生活に結び付けたり、他の学習で横断的に取り扱ったりすることで、生活の中で学んだことを生かすことの楽しさを感じられるようにする。 ・地域図書館や団体貸し出しを利用したり、学習と関連した本の紹介をしたりして、児童が幅広い本と出会い、読書に親しむ機会を増やしていく。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら問いをもち、課題を解決していくような授業を展開する。

